

上越教育大学概要

平成2年度



目 次

1	創設の趣旨・目的	1	19	情報教育研究・訓練センター	24
2	沿 革	2	20	保健管理センター	24
3	組 織 図	4	21	附属学校	25
4	運 営 図	5	22	建物配置図	26
5	役 職 員	6	23	土地・建物	29
6	職員の定員	7	24	位 置 図	30
7	部及び講座の構成	8	25	所 在 地	32
8	学生の定員及び現員	10			
9	平成2年度入学志願者数及び入学者数	11			
10	平成2年度都道府県別入学状況	12			
11	平成元年度卒業生・修了生の就職状況	14			
12	奨学生数	15			
13	福利厚生施設	16			
14	公開講座等	18			
15	附属図書館	20			
16	学校教育研究センター	21			
17	附属実技教育研究指導センター	22			
18	附属障害児教育実践センター	23			

1 創設の趣旨・目的

戦後のわが国教師教育の実情を背景にして、本学は学校教育に関する理論的・実践的な研究・教育を推進するために、現職教員を主対象とする大学院に重点を置いた国立の教育大学として創設された。

大学院は、学校教育研究科（修士課程）とし、主として初等中等教育の理論と実践に係わる諸科学の総合的・専門的研究を行うとともに、初等中等教育教員に高度の学習と研究の機会を与え、その理論的・実践的な能力の向上を図ることをねらいとしている。

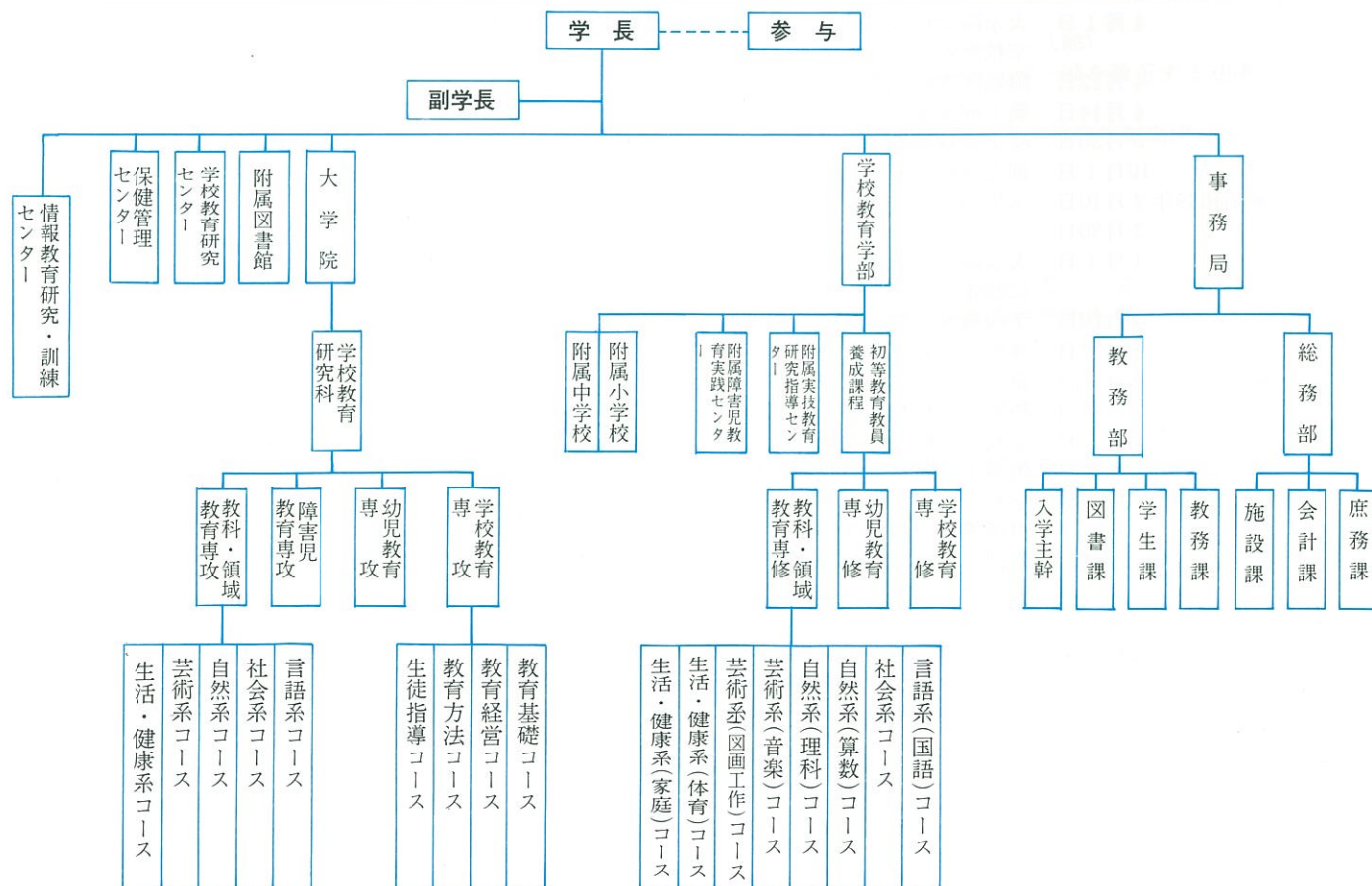
学部は、学校教育学部とし、初等教育教員養成課程を置き、児童等の成長と発達に関する総合的な理解の上に、全教科・領域にわたる優れた指導能力を備えた初等教育教員を養成する。

2 沿革

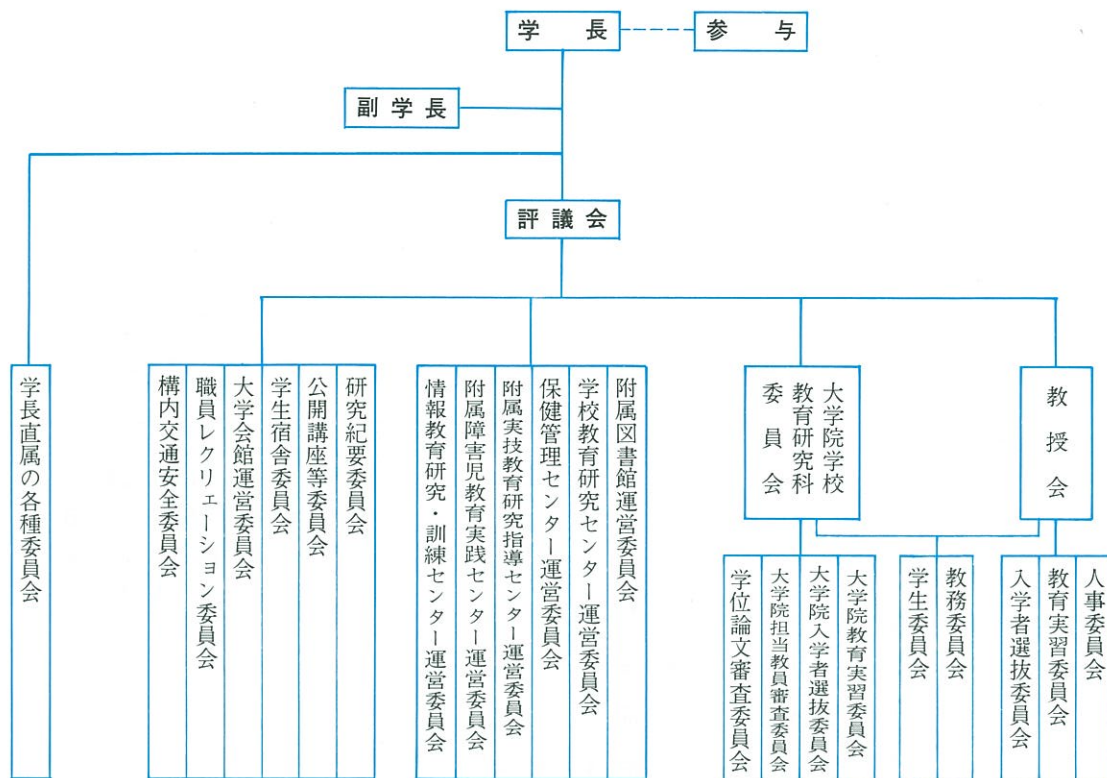
- 昭和51年 8月1日 文部省内に「教員大学院大学創設準備室」設置（室長 須田 八郎）
- 昭和53年 6月17日 第84国会で「国立学校設置法及び国立養護教諭養成所設置法の一部を改正する法律」が成立し、本学の新設が決定
 - 10月1日 上越教育大学が開学し、学長に辰野千壽就任、事務局を新潟大学教育学部高田分校内に設置
- 昭和56年 1月25日 昭和56年度学部推薦入学者選抜試験実施
 - 3月4～6日 昭和56年度学部入学者選抜試験実施
 - 3月25日 学生宿舎一部、人文棟竣工
 - 4月1日 「国立学校の附属の学校に関する政令の一部を改正する政令」及び「国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令」の施行に伴い、附属実技教育研究指導センター、附属小学校、附属中学校の設置（附属学校は新潟大学教育学部附属高田小・中学校を移管）
 - 4月16日 第1回学部入学式挙行
 - 4月20日 旧新潟大学教育学部高田分校の校舎等の一部を使用し、授業開始
 - 5月25日 講義棟、実験棟、大学会館、設備機械棟竣工
 - 6月8日 山屋敷地区の第一期工事の校舎等の完成に伴い、事務局、研究室、学生宿舎等の移転
 - 8月10日 音楽棟竣工
 - 12月2日 学生宿舎一部竣工
- 昭和57年 1月20日 美術棟、体育棟、体育館、小体育館竣工
 - 3月31日 職員研修センター竣工
 - 4月1日 保健管理センター設置
 - 8月28～29日 昭和58年度大学院入学者選抜試験実施
 - 12月11～12日 昭和58年度大学院第2次入学者選抜試験実施
 - 12月15日 学生宿舎一部竣工
- 昭和58年 1月25日 附属図書館竣工
 - 3月28日 自然棟竣工
 - 3月31日 本部事務局竣工

- 4月1日 大学院学校教育研究科設置（学校教育専攻及び教科・領域教育専攻、入学定員140名）
学校教育研究センター設置
- 4月12日 附属図書館開館
- 4月14日 第1回大学院入学式举行
- 5月30日 陸上競技場竣工
- 10月1日 創立5周年記念式典举行
- 昭和59年2月10日 学生宿舎竣工
- 3月30日 プール竣工
- 4月1日 大学院学校教育研究科に幼児教育専攻及び障害児教育専攻を増設し、入学定員を300人に改定
- 6月15日 学校教育研究センター竣工
- 8月31日 課外活動共用施設竣工
- 昭和60年3月15日 第1回学部卒業式及び第1回大学院学位記授与式举行
- 3月26日 附属小学校校舎（増築）竣工
- 4月1日 学長に辰野千壽が再任
- 昭和62年1月28日 附属中学校校舎（増築）竣工
- 4月1日 学長に辰野千壽が再任
- 附属障害児教育実践センター設置
- 昭和63年3月31日 附属中学校体育館竣工
- 5月11日 情報教育研究・訓練センター設置
- 11月30日 講堂竣工
- 12月7日 開学10周年記念式典举行
- 平成元年4月1日 学長に松野純孝が就任
- 平成2年2月28日 赤倉野外活動施設竣工

3 組織図



4 運営図



5 役職員

学 長 松 野 純 孝
副 学 長 新 井 郁 男
副 学 長 大 野 雅 敏

部 局 長 等

附 属 図 書 館 長 安 西 勉 夫
学 校 教 育 森 島 慧
研 究 セ ン タ ー 長 山 本 保
保 健 管 理 セ ン タ ー 所 長 細 井 房 明
第 一 部 学 部 主 事 加 藤 章
第 二 部 学 部 主 事 大 澤 健 郎
第 三 部 学 部 主 事 関 間 豊 吉
第 四 部 学 部 主 事 篠 田 功
第 五 部 学 部 主 事 柿 木 吾 郎
附 属 実 技 教 育 研 究 指 導 セ ン タ ー 長 湧 井 豊
附 属 障 害 児 教 育 実 践 セ ン タ ー 長 渡 谷 憲 一
附 属 小 学 校 長 保 坂 圭 介
附 属 小 学 校 副 校 長 中 村 登 流
附 属 中 学 校 長 飯 田 隆 夫
附 属 中 学 校 副 校 長

評 議 員

学 長 松 野 純 孝
副 学 長 新 井 郁 男
副 学 長 大 野 雅 敏
附 属 図 書 館 長 安 西 勉 夫
学 校 教 育 森 島 慧
研 究 セ ン タ ー 長 前 田 幹
教 授 細 井 房 明
教 授 相 馬 正 一
教 授 加 藤 章
教 授 大 澤 健 郎
教 授 関 間 豊 吉
教 授 篠 田 功
教 授 柿 木 吾 郎
教 授 中 村 登 流

事 務 局

事 務 局 長 竹 内 世 武
総 務 部 長 杉 田 均
庶 務 課 長 上 戸 敏 信
会 計 課 長 中 山 文 夫
施 設 課 長 藤 田 哲 男
教 務 部 長 森 基 泰
教 務 課 長 小山田 健 児
学 生 課 長 大 田 黒 正 道
図 書 課 長 郡 司 良 夫
入 学 主 幹 中 林 邦 夫

参 与

東 洋 (白百合女子大学教授)

関 四 郎 (日本教育大学協会長)

井 内 慶次郎 (東京国立博物館長)

辰 野 千 壽 (前上越教育大学長
財団法人応用教育研究所長)

植 木 公 (上越市長)

水 上 忠 (東京都教育委員会教育長
都道府県教育長協議会幹事長)

金 子 清 (新潟県知事)

宮 崎 八百一郎 (新日本製鐵株式会社顧問)

堺 嘉 治 (新潟県小学校長会長)

6 職員の定員

(平成2年4月1日現在)

区 分	学 長	副学長	教 授	助教授	助 手	小 計	教 頭	教 諭	養護教諭	計	事務局員	合 計
学 長	1					1				1		1
副 学 長		2				2				2		2
学 校 教 育 学 部			82	67	25	174				174		174
学校教育研究センター			3	3		6				6		6
保健管理センター			1			1				1		1
附属実技教育研究指導センター			4			4				4		4
附属障害児教育実践センター			1	1		2				2		2
附 属 小 学 校							1	15	1	17		17
附 属 中 学 校							1	15	1	17		17
事 務 局											132	132
計	1	2	91	71	25	190	2	30	2	224	132	356

7 部及び講座の構成

部	講 座	主な授業科目
第 1 部	教育基礎	教育本質論 教育心理学 教育社会学 教育人間学特論 教育心理学特論
	教育経営	教育制度論 学校経営論 教育行政論 学校経営学特論 社会心理学特論
	教育方法	教育評価論 教育課程論 教育方法学 教育方法学特論 学習心理学特論 教育研究法特論 教育工学特論 教育課程特論
	生徒指導	生徒指導論 特別活動研究論 道德教育特論 生徒指導特論 道德教育特論 道徳教育特論 同和教育特論
	幼児教育	幼児教育原論 児童心理学 保育内容 幼児児童教育学特論 幼児児童心理学特論 幼児児童教育内容特論

部	講 座	主な授業科目
第 1 部	障 害 児 教 育	障害児教育原理 障害児教育・福祉総論 障害児教育行政制度論 障害児心理学総論 大脳生理・病理学特論
第 2 部	国 語 学	国語学 英文学 ドイツ語 言語（国語）文化論 国語学・国文学特論 英語科教育論 言語学 文学理論
	社 会 学	哲学 倫理学 法律学 社会学 社会心理学 経済学 歴史学 地理学 現代思想研究 日本の文化と民俗 地域研究 現代社会論 社会科教育論

部	講 座	主な授業科目
第 3 部	自 然 系 育	自然Ⅰ（物理学・化学） 自然Ⅱ（生物学・地学） 代数学 幾何学 解析学特論 数学特論 数学科教育論 理科教育論 自然科学
第 4 部	芸 術 系 育	ソルフェージュ 声楽 ピアノ 基礎 彫刻 工芸 現代音楽 民族音楽 現代音楽論 造形心理学特論 書道 運動方法学 運健体育学 学校保健 学家庭電気・機械学 食被物服学 保健体育教育論 技術科教育論 家庭科教育論 家庭経営学特論
第 5 部	生 活 ・ 系 育	生活健康 保健 教育



大学の建物及び上越市(直江津地区)

8 学生の定員及び現員

学校教育学部

(平成2年5月1日現在)

課 程	入学定員	現 員														
		1 年 次			2 年 次			3 年 次			4 年 次			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
初等教育教員養成課程	200	67	139	206	75	129	204	76	125	201	89	128	217	307	521	828

大学院学校教育研究科 (修士課程)

(平成2年5月1日現在)

専 攻 ・ コ ー ス		入学定員	現 員									
			1 年 次			2 年 次			合 計			計
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	
学 校 教 育 専 攻	教育基礎コース	約15	7	3	10	8	3	11	15	6	21	
	教育経営コース	約15	8(1)	1	9(1)	4	0	4	12(1)	1	13(1)	
	教育方法コース	約10	16(1)	0	16(1)	18	0	18	34(1)	0	34(1)	
	生徒指導コース	約10	10	2	12	10	0	10	20	2	22	
	計	50	41(2)	6	47(2)	40	3	43	81(2)	9	90(2)	
幼 児 教 育 専 攻		15	5	5	10	6	3	9	11	8	19	
障 害 児 教 育 専 攻		25	16	5	21	10	6	16	26	11	37	
教 科 ・ 領 域 教 育 専 攻	言語系コース	約40	16(1)	4	20(1)	13(1)	12(1)	25(2)	29(2)	16(1)	45(3)	
	社会系コース	約30	25	0	25	30	1	31	55	1	56	
	自然系コース	約50	29	0	29	31	4	35	60	4	64	
	芸術系コース	約50	19	15	34	18	11(1)	29(1)	37	26(1)	63(1)	
	生活・健康系コース	約40	19(1)	5	24(1)	21	8	29	40(1)	13	53(1)	
計		210	108(2)	24	132(2)	113(1)	36(2)	149(3)	221(3)	60(2)	281(5)	
合 計		300	170(4)	40	210(4)	169(1)	48(2)	217(3)	339(5)	88(2)	427(7)	

研究生

(平成2年5月1日現在)

区 分	現 員		計
	男	女	
学 校 教 育 学 部	6(2)	4(1)	10(3)
大学院学校教育研究科	4	2	6

()内は、外国人
留学生で内数

聴講生

(平成2年5月1日現在)

区 分	現 員		計
	男	女	
学 校 教 育 学 部	3	3	6
大学院学校教育研究科	1	2	3

9 平成2年度入学志願者数及び入学者数

学校教育学部

課 程	入学定員	志 願 者 数			入 学 者 数		
		男	女	計	男	女	計
初等教育教員養成課程	200	456	595	1,051	67	139	206

大学院学校教育研究科（修士課程）

専 攻 ・ コ ー ス		入学定員	志 願 者 数			入 学 者 数		
			現 職	その他	計	現 職	その他	計
学校教育専攻	教育基礎コース	約15	7(2)	6(2)	13(4)	6(1)	4(2)	10(3)
	教育経営コース	約15	5(1)	3	8(1)	7(1)	2	9(1)
	教育方法コース	約10	19	4(1)	23(1)	15	1	16
	生徒指導コース	約10	9	3(2)	12(2)	10	2(2)	12(2)
	計	50	40(3)	16(5)	56(8)	38(2)	9(4)	47(6)
幼児教育専攻		15	2(2)	11(6)	13(8)	0	10(5)	10(5)
障害児教育専攻		25	11	10(5)	21(5)	10	11(5)	21(5)
教科・領域教育専攻	言語系コース	約40	15(3)	10(4)	25(7)	15(3)	5(1)	20(4)
	社会系コース	約30	23	16	39	19	7	26
	自然系コース	約50	25	10(1)	35(1)	24	5	29
	芸術系コース	約50	12(1)	26(16)	38(17)	11(1)	23(14)	34(15)
	生活・健康系コース	約40	10(1)	23(8)	33(9)	10(1)	14(4)	24(5)
計		210	85(5)	85(29)	170(34)	79(5)	54(19)	133(24)
合 計		300	138(10)	122(45)	260(55)	125(7)	84(33)	211(40)

()内は、女子で内数

10 平成2年度都道府県別入学状況

学校教育学部

人数	10人	20人	30人
北海道			
青 森	●●●●●●●● 9		
岩 手	●● 2		
宮 城	● 1		
秋 田	●● 2		
山 形	●●●●●●● 7		
福 島	● 1		
茨 城	●● 2		
栃 木	●●●●● 5		
群 馬	●●●●●●●● 9		
埼 玉			
千 葉	● 1		
東 京			
神奈川	● 1		
新 潟	●●●●●●●●●●●●●●●●●● 23		
富 山	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● 25		
石 川	●●●●●●●● 9		
福 井	●●●●●●● 7		
山 梨	●●●●● 5		
長 野	●●●●●●●●●●●●●● 13		
岐 阜	●●●●●●● 7		
静 岡			
愛 知	●●●●●●●●●●●●●●●● 18		
三 重			
滋 賀	●●●● 4		

都道府県	人数	10人	20人	30人
京都				
大阪	● 1			
兵庫	●●●● 4			
奈良				
和歌山				
鳥取				
島根	●●●●●●●● 10			
岡山	●●● 3			
広島				
山口	● 1			
徳島	●●●●●●●● 9			
香川				
愛媛	●●●●●●●● 10			
高知				
福岡				
佐賀				
長崎	●●●●●●●● 9			
熊本	● 1			
大分	●● 2			
宮崎	●●●● 4			
鹿児島	● 1			
沖縄				
外国				
合計	206			

大学院学校教育研究科（修士課程）

● 現職教員
○ 現職教員以外

人数	10人	20人	30人	40人	50人
北海道	●●●○●●●●●●●● 11(3)				
青森	●●●○● 5(3)				
岩手	●●○●●●●● 8(2)				
宮城	●●●●○ 5(4)				
秋田	●●●○●●● 7(3)				
山形	●●●○ 4(3)				
福島	●● 2(2)				
茨城	●● 2(2)				
栃木	●●●● 4(4)				
群馬	●●●●●○● 7(5)				
埼玉	●●●●●●●●●●●●●●●●●● 17(13)				
千葉	●●●○ 4(3)				
東京	●●●●●●●●●●●●●●●●●● 17(7)				
神奈川	●●●●●●●●●● 10(10)				
新潟	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● 43(30)				
富山	●●●●○●● 8(5)				
石川	●● 2(2)				
福井	●●● 3(3)				
山梨	●●●○ 4(3)				
長野	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● 20(12)				
岐阜	●●●○●●● 7(3)				
静岡	●●● 3(3)				
愛知	●○● 3(1)				
三重					
滋賀					

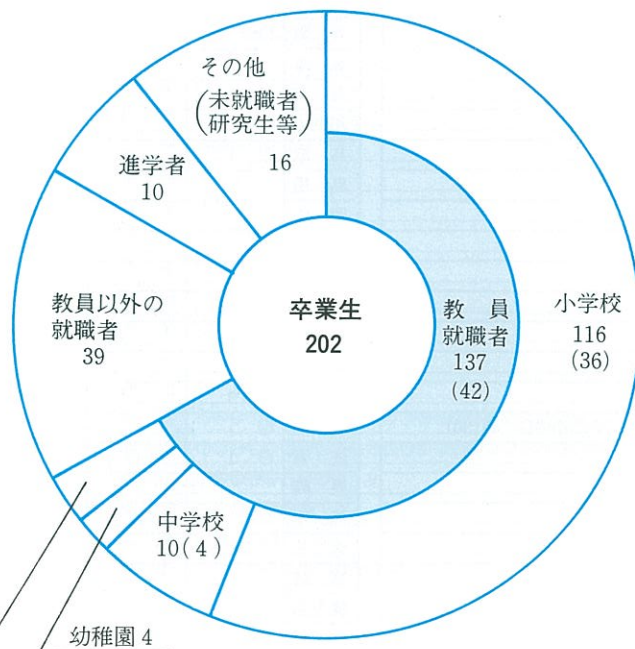
人数	10人
京都	○ 1
大阪	○● 2
兵庫	
奈良	○ 1
和歌山	
鳥取	○ 1
島根	
岡山	
広島	
山口	
徳島	
香川	
愛媛	
高知	○ 1
福岡	○ 1
佐賀	○ 1
長崎	
熊本	
大分	
宮崎	
鹿児島	
沖縄	●○● 3(1)
外国	○●●● 4
合計	211(127)

() 内は、現職教員で内数

11 平成元年度卒業生・修了生の就職状況

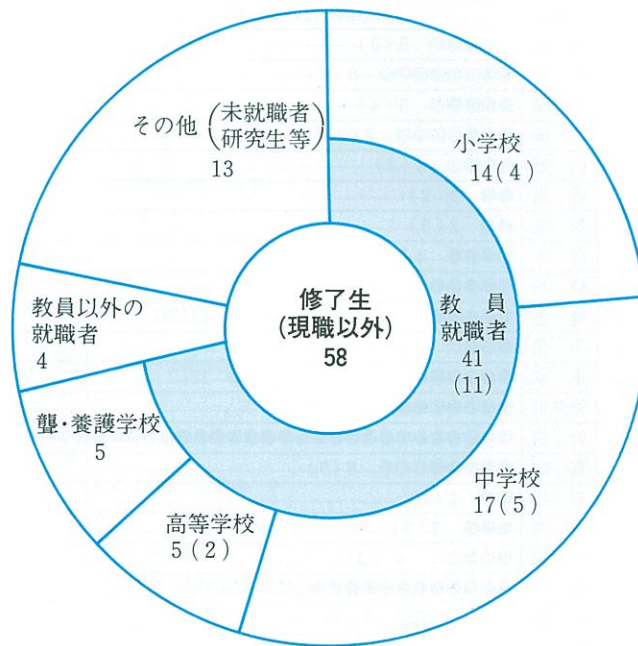
(平成2年5月1日現在)

学校教育学部 (初等教育教員養成課程)



盲・聾・養護学校 7 (2)

大学院学校教育研究科 (修士課程)



()内は、育児休業・病休・産休教員の代替教員、その他1年以内の期限付き教員として採用された者で内数
(参考) 大学院学校教育研究科の現職修了生は、130人(復職内訳 小学校52人、中学校56人、高等学校14人、養護学校8人)

12 奨学生数

(平成2年3月31日現在)

区 分		在籍者数	日 本 育 英 会				各種奨学金		合 計	
			第一種	第二種	計	受給率(%)	奨学生数	受給率(%)	奨学生数	受給率(%)
学 部	1 年次	204	48	11	59	28.9	2	1.0	61	29.9
	2 年次	201	44	13	57	28.4	2	1.0	59	29.4
	3 年次	205	45	12	57	27.8	4	2.0	61	29.8
	4 年次	213	54	16	70	32.9	3	1.4	73	34.3
	小 計	823	191	52	243	29.5	11	1.3	254	30.9
大 学 院	1 年次	74	33	—	33	44.6	—	—	33	44.6
	2 年次	65	37	—	37	56.9	—	—	37	56.9
	小 計	139	70	—	70	50.4	—	—	70	50.4
合 計		962	261	52	313	32.5	11	1.1	324	33.7

大学院の在籍者数は、現職教員及び外国人留学生を除く数

13 福利厚生施設

大学会館

室 名	備 考
第 1 食 堂	3 1 2 席
第 2 食 堂	2 8 席
売 店	書籍、文具、食料品、日用品等
喫 茶 室	5 8 席
理 容 室	2 席
美 容 室	2 席
集 会 室	5 室(内、和室 2 室)

赤倉野外活動施設

室 名	備 考
食堂・講義室・集会室 (1F)	3 6 席
宿 泊 室 (2F)	和室 1 室 (10畳) 洋室 3 室 (24人)



大学会館・第一食堂



大学会館・売店



大学会館・喫茶室



学生宿舎

区 分	構造・階数	延 面 積	収容人員
単身用学生宿舎	R 5	13,849㎡	720

区 分	構造・階数	延 面 積	戸 数
世帯用学生宿舎	R 5	4,007㎡	80 戸



14 公開講座等

公開講座

一般市民の教養を高め、地域の文化の向上及び現職教員等の研修に資するため、本学に公開講座を開設している。

(平成元年度)

種 類	講 座 名	受講者数
一般公開講座	人間・思想・宗教	8
	障害児教育・福祉の今日の問題	35
	コンピュータ入門	20
	データベース入門	20
	やさしい作曲教室	12
	仏像の見方ー日本美術史入門ー	57
	計	152



文化講演会

本学の学生及び一般市民の教養を高め、視野を広げるため上越市と共催で、優れた研究者、文化人を招いて講演会を開催している。

(平成元年度)

演 題	講 師
今、こころの時代を創るー私たちの生きる課題ー	横浜市立大学教授 伊 藤 隆 二
女性とことばのかかわり	著 述 業 寿 岳 章 子
日本人とアイデンティティ	京 都 大 学 教 授 河 合 隼 雄
新潟県教育地図ー教育現象の地理的考察ー	本 学 教 授 朝 倉 隆 太 郎
電気の上手な使い方	本 学 副 学 長 庄 田 新 一





講堂

ホール内部

15 附属図書館

蔵書数

(平成2年3月31日現在)

区 分	蔵 書 数	内 訳	
		和	洋
図 書	129,079冊	100,552	28,527
雑 誌	1,740種	1,202	538

利用状況

(平成元年度)

開 館 日 数			288
入 館 者 数			78,355
館 外 貸 出	利用人数	学 生	17,536
		職 員	1,819
		計	19,355
	貸出冊数	学 生	41,983
		職 員	6,748
		計	48,731
文献複写		受 付	394
		依 頼	2,956
相互貸借		貸 出	0
		借 受	159



附属図書館



閲覧室

16 学校教育研究センター

学校教育の実践に係る科学的研究並びに実地教育（教育実習を含む。）などに関する研究開発を総合的、統一的に推進することを目的とする学内共同の教育研究施設として、学校教育研究センターを設置している。

このセンターには、「教育資料・交流」「教育工学」「実地教育」の各分野を置いている。

- 機能**
- (1) 教師教育を推進するために、附属学校及び協力校との緊密な連携のもとに、教育実践にかかわる実証的科学的研究を進める。
 - (2) 優れた資質能力を備えた教員を養成する基盤として、教育の実地研究を推進し、教育実習及びその事前・事後の訓練について分析、検討や研究開発を進め、それらの抜本的改善を図る。
 - (3) 教育現場における教育実践にかかわる諸問題の解決や新しい教師教育推進のため、情報や資料を広く収集・整理するとともに、共同研究のできる教育理論と実践の総合的教育研究施設とする。

- 内容**
- | | |
|-------------|---|
| 「教育資料・交流」分野 | 1) 教育研究交流支援のための教育情報通信システムの研究・開発
2) 授業情報ライブラリーの構築と活用システムの研究・開発
3) 研究交流と施設の公開 |
| 「教育工学」分野 | 1) 教育工学的手法による授業の改善に関する研究・開発
2) 教育情報処理に関する研究・開発
3) 教授メディアに関する研究・開発 |
| 「実地教育」分野 | 1) 授業に関する総合的研究
2) 教育実習の改善に関する研究 |



コンピュータ利用講習会

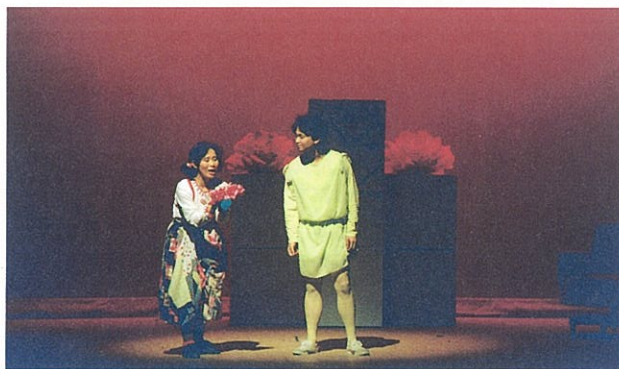


客員研究員講演会

17 附属実技教育研究指導センター

学部における教育や研究と密接な関連を保ち、主として学生の自学自習により、教育に関する実地的、技術的能力、実技指導能力などの涵養を図るため、学部附属した実技教育研究指導センターを設置している。

このセンターには、「音楽教育」「美術教育」「体育教育」「外国語教育」の各分野を置いている。



「音楽教育」分野



「美術教育」分野



「体育教育」分野



「外国語教育」分野

- 機能** 実技を伴う教科における実技指導力不足の状況を改善し、指導内容・方法に関する研究開発と指導力の向上を図るため、その指導等を行う。
- 「音楽教育」分野 音楽に関する理解の深化、各種楽器(特にピアノ)演奏や歌唱能力の伸長及び実力の認定
- 「美術教育」分野 美術・工芸に関する理解の深化、各種の美術・工芸技法の習熟を図るとともに、A V (視聴覚) 資料以外の各種の教材作成の技能の習熟
- 「体育教育」分野 体力の増強と各種の運動技法の習熟及び実力認定
- 「外国語教育」分野 外国語の読解、作文、聴解、対話に関する能力の伸長及び実力認定

18 附属障害児教育実践センター

大学院における障害児に関する実践的教育の研究推進と実地指導能力の向上を図るため、学部附属した障害児教育実践センターを設置している。

このセンターでは、「教育臨床」「教育相談」「教材・教具の開発」「指導者研修」の4分野が予定されている。

機能 障害児教育に関する臨床的、実践的な教育に重点を置き、複雑多岐にわたる障害児の個別指導を通して臨床経験を積み重ね、より質の高い診断・指導技術を向上させるため、研究・指導を行う。



教育臨床 (集団指導)



教育臨床 (個別指導)

19 情報教育研究・訓練センター

教育情報の収集や処理に関する基礎的研究と教育を目的とする学内共同の教育研究施設として、情報教育研究・訓練センターを設置している。(昭和63年度、学内措置による。)

現在このセンターでは、学内利用を目的とした教育情報データベースの構築が行われている。また、教育面では学部学生に対して教育情報処理の基礎訓練を行っており、併せて教官や大学院学生の研究も支援している。



センタールーム



情報教育の授業

20 保健管理センター

学生及び職員の心身の健康の保持・増進を図るため、保健管理センターを設置している。

このセンターでは、心身の健康状態を客観的に把握し、指導・助言を行うため、定期健康診断をはじめ、専門の職員による健康相談や精神衛生相談を実施するとともに、種々の疾病やけがに対して応急措置を講じている。

21 附属学校

学校教育に関する実証的な研究と学生の教育実習を行うため、附属小学校及び附属中学校を設置している。
また、将来は、附属幼稚園及び附属養護学校を設置する予定である。

(平成2年5月1日現在)

区 分	入学定員	児 童 生 徒 数							学 級 数
		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	計	
附属小学校	80	85(44)	82(35)	82(42)	67(40)	82(37)	75(35)	473(233)	12
附属中学校	120	126(57)	121(57)	134(60)	—	—	—	381(174)	9

()内は、女子で内数



附属小学校



附属中学校

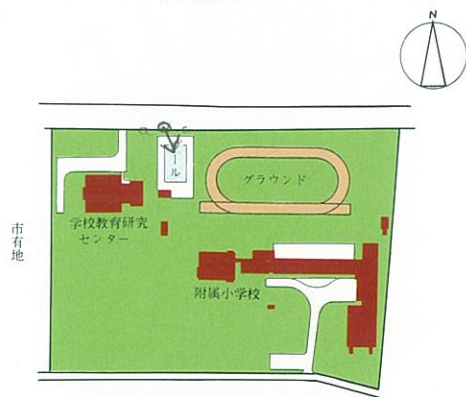
22 建物配置図

山 屋 敷 地 区





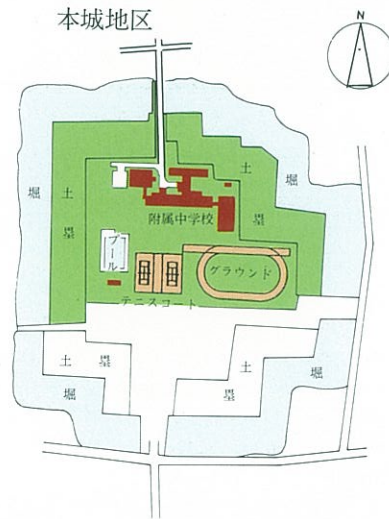
西城地区



附属小学校
学校教育研究センター



本城地区



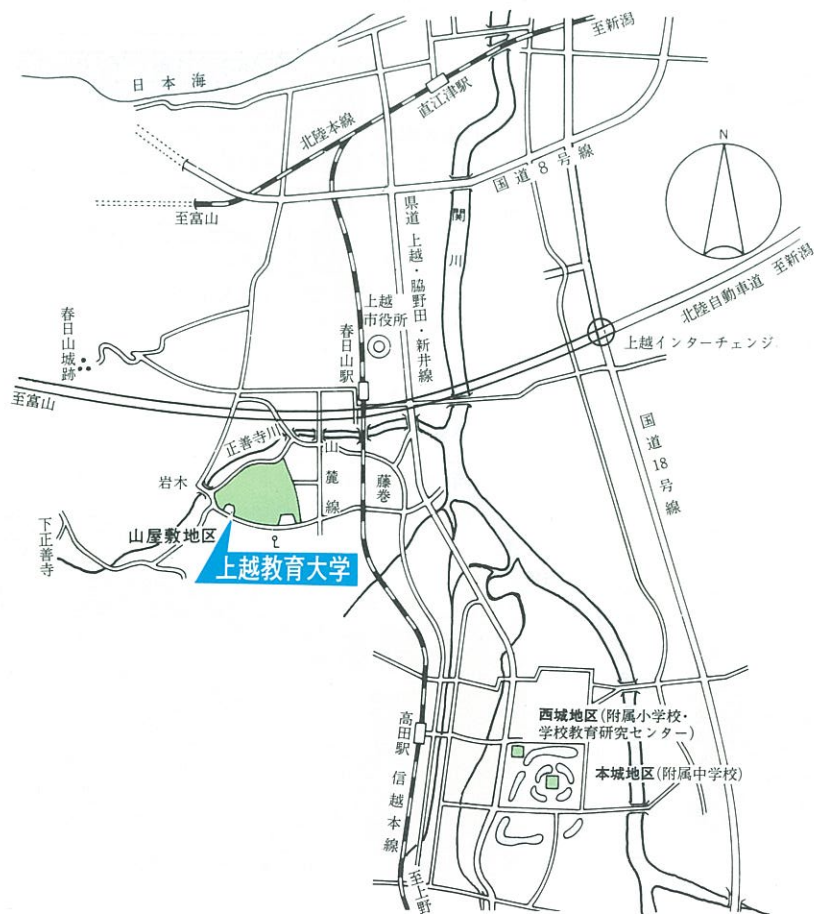
附属中学校



23 土地・建物

区 分	建 物			備 考	区 分	建 物			備 考
	名 称	建物面積㎡	延面積㎡			名 称	建物面積㎡	延面積㎡	
山屋敷地区 (356,199㎡)	人 文 棟	1,516	9,153	世帯40戸用2棟 单身60人用3棟 〃 80 〃 1棟 〃 100 〃 1棟 〃 120 〃 3棟 1棟30戸B型15戸 C型15戸	西城地区 (36,292㎡)	学校教育研究センター	893	1,864	
	自 然 棟	912	6,393			小 学 校 校 舎	1,801	3,506	
	講 義 棟	828	2,193			小 学 校 体 育 館	600	600	
	実 験 棟	573	1,152			そ の 他	281	289	
	音 楽 棟	741	2,829			計	3,575	6,259	
	美 術 棟	1,526	3,858		本城地区 (50,124㎡)	中 学 校 校 舎	1,623	3,724	
	体 育 棟	594	1,723			中 学 校 体 育 館	934	2,157	
	体 育 館	1,404	1,404			そ の 他	391	391	
	小 体 育 館	636	1,214			計	2,948	6,272	
	本部事務局	716	2,139		赤倉地区 (1,871㎡)	赤倉野外活動施設	209	395	
	附属図書館	945	3,196			西 城 研 修 所	73	98	9棟33戸B型15戸 C型18戸
	大 学 会 館	1,641	2,217		そ の 他 (7,340㎡)	西 城 宿 舎	926	1,955	
	講 堂	1,045	1,078			北 城 宿 舎	452	1,341	
	職員研修センター	402	402			そ の 他	19	19	1棟12戸E型
	設備機械棟	438	688			計	1,470	3,413	
	学 生 宿 舎	4,451	17,856		合 計		28,401	77,358	
	職 員 宿 舎	380	1,814		() 内は、土地面積				
	そ の 他	1,451	1,710						
	計	20,199	61,019						

24 位置図



* 本学への道順

- 信越本線「高田駅」下車、高田駅近くの町5丁目停留所から教育大学線のバスに乗り(約15分)教育大学下車。「高田駅」からタクシーで10分。
- 信越本線「春日山駅」(急行・特急通過駅)下車、徒歩約25分。
- 信越本線「直江津駅」下車、直江津駅前停留所から教育大学線のバスに乗り(約20分)教育大学下車。「直江津駅」からタクシーで15分。



春日山の上杉謙信公像



高田城跡公園の夜桜



高田平野から望む妙高山



谷浜海岸

25 所在地

名	称	所 在 地	電 話 番 号
上越教育大学	事 務 局		
	学 校 教 育 学 部		
	大学院学校教育研究科		
	附 属 図 書 館		
	保 健 管 理 セ ン タ ー	〒943 上越市山屋敷町1番地	(0255)22-2411(代)
	大 学 会 館		
	学校教育学部附属実技教育 研究指導センター		
	学校教育学部附属障害児教育 実践センター		
	学校教育研究センター	〒943 上越市西城町1丁目7番2号	(0255)25-9147
	赤 倉 野 外 活 動 施 設	〒949-21 新潟県中頸城郡妙高高原町 大字赤倉字広157-3	(0255)87-2464
	学校教育学部附属小学校	〒943 上越市西城町1丁目7番1号	(0255)23-3610
	学校教育学部附属中学校	〒943 上越市本城町6番2号	(0255)23-5313
	単 身 用 学 生 宿 舎		
	世 帯 用 学 生 宿 舎	〒943 上越市山屋敷町1番地	



平成 2 年 6 月発行

編集発行 **上越教育大学総務部庶務課**

〒943 上越市山屋敷町 1 番地

電話 0255—22—2411



JOETSU UNIVERSITY OF EDUCATION